◆好調カテゴリ別　金額市場規模前年比一覧

主食

新型コロナウイルスの感染再拡大により、"巣ごもり需要""備蓄需要"が活況となり、主食計では前月よりも伸長した。ところが、カテゴリーによって好不調が分かれ、主食計では前年比98.5%と前年を下回った。
「シリアル類」:巣ごもり需要の影響により、大袋タイプの商品が好調。とりわけ、健康食とされるオートミールが人気。
「乾麺」:平年よりも気温が高かった影響により、ラーメンやそばが伸長。
「プレミックス」:パンケーキ・クッキーなどのお菓子作り需要が引き続き好調。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
主食　TOTAL	98.5	2.9
米	101.4	-2.1
米飯類	106.4	12.6
食パン		
菓子パン・調理パン		
シリアル類	113.4	11.0
袋インスタント麺	108.7	6.1
カップインスタント麺		
乾麺	114.6	14.7
生麺・ゆで麺		
スパゲティ	112.2	12.9
マカロニ類	106.5	3.6
小麦粉	104.5	5.5
てんぷら粉	107.7	-5.5
唐揚げ粉	101.3	0.8
パン粉	105.4	1.6
プレミックス	117.2	13.0

調味料

活況な巣ごもり需要の影響により、前年比105.8%と好調を維持。
「シロップ類 、蜂蜜、低カロリー甘味料」:家庭内で菓子やケーキなどを子供たちと一緒に手作りするといった需要が、依然として堅調。シロップ類では、メープルシロップが11月上旬にTV番組で特集された影響により、前月よりも大幅に伸長したと見て取れる。
「香辛料」:にんにくやシーズニングスパイスが好調。内食機会が増加するなか、料理の味付けに変化を付けて飽きを防ごうと、需要が高まっていると考えられる。
「本みりん、料理酒、ゴマ油」:巣ごもり需要により、好調を維持。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
調味料　TOTAL	105.8	-0.2
醤油	107.4	0.1
味噌	101.7	-3.8
食塩	109.3	4.8
料理酒	116.8	-4.2
砂糖	102.3	-1.5
低カロリー甘味料	117.2	-2.0
シロップ類	141.1	41.3
蜂蜜	121.1	4.0
ソース	106.9	6.3
ケチャップ	107.0	2.2
マヨネーズ	106.5	4.4
ドレッシング	110.0	6.8
香辛料	111.5	1.1
エッセンス類	107.9	-1.3
焼肉シャブシャブのタレ	104.1	0.6
食酢	101.0	4.8
ぽん酢	101.9	-4.2
本みりん	121.7	-10.8
みりん風調味料	104.3	1.2
風味調味料	102.6	-3.9
削り節	100.8	5.2
煮干し		
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素	108.3	-6.0
サラダ油・天ぷら油	105.2	-0.8
ゴマ油	114.8	4.1
バター	109.5	-1.0
マーガリン類		
チーズ	101.8	-1.0
ジャム・ママレード	100.3	0.6

※網掛け
前年比 105%超:

加工食品①

前月よりもわずかに伸長し、前年比104.4%と前年を上回り好調を維持。
「パスタソース」:主食のスパゲティと同様に、活況な巣ごもり需要を背景として、前月よりも大きく伸長。とりわけ、ペペロンチーノやたらこなどの風味で、茹でたパスタにあえるだけで使用できる商品が、簡便性の高さからか好調。
「冷凍水産」:シーフードミックス・貝類などが好調。パスタやピラフなどの料理での需要が堅調なためと推察される。
「冷凍農産」:内食やお菓子作りの需要により、ブロッコリーや野菜ミックスなどの野菜のほか、果実も好調。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
加工食品①　TOTAL	104.4	0.4
春雨・くず切り		
こうや豆腐		
海苔	106.0	2.3
ふりかけ		
お茶漬けの素	107.2	-5.0
まぜご飯の素	105.1	5.0
カレー	104.3	5.5
シチュー		
パスタソース	108.1	11.5
シチューベース	106.4	-6.1
メニュー専用料理の素	102.4	-0.1
スープ類	102.6	-2.1
味噌汁・吸物類	102.8	-1.3
調理用スープ	106.3	-4.6
冷凍水産	131.7	-0.7
冷凍農産	112.4	-4.7
冷凍調理	105.2	0.9

加工食品②

前月よりも伸長し、前年比106.2%と前年を上回り好調を維持。
「畜肉缶詰」:とりわけコンビーフが伸長。11月下旬にTV番組でコンビーフが特集された影響により、大幅に伸長したと考えられる。
「パウチ入り食材」:内食やお菓子作りの需要により、スイートコーンやカットトマトなどの野菜のほか、果実も好調。
「和風食品」:季節商品であるおでんのほか、お好み焼きや鯛焼きなどのチルド商品も好調。
「洋風食品」:簡便に準備できる、ハンバーグやフライなどのチルド商品が人気。
「焼豚」:簡便に準備できる、スライスや厚切りタイプの商品が人気。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
加工食品②　TOTAL	106.2	3.0
魚介類缶詰	101.9	14.0
野菜缶詰	107.2	4.3
フルーツ缶詰	106.8	11.0
畜肉缶詰	108.4	21.3
パウチ入り食材	111.1	0.7
和風食品	108.0	-2.1
洋風食品	107.3	-2.9
中華風食品	106.2	0.1
畜肉ハム	104.8	4.0
畜肉ソーセージ	102.5	1.3
魚肉ソーセージ	103.7	15.6
焼豚	111.3	1.0
ベーコン	106.6	2.8

加工食品③

前月よりも落ち込み、前年比100.1%とほぼ前年並みとなった。
「佃煮」:内食需要により伸長し、とりわけ塩昆布が好調。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
加工食品③　TOTAL	100.1	-1.8
かまぼこ	100.3	0.4
ちくわ	102.0	-2.4
はんぺん	100.6	-5.9
揚げ物		
納豆	101.7	0.3
煮豆		
佃煮	104.0	1.4
もずく・めかぶ		
豆腐類		

菓子

前月よりも落ち込み、前年比99.4%と前年をわずかに下回った。
外出自粛の影響により、キャンディやチューインガムの不調は継続。
「ビスケット＆クラッカー」:ケーキやパイタイプの商品が好調で、苺味等の季節商品も寄与したと見て取れる。
「玩具メーカー菓子」:前月ほどの勢いはないものの、人気TVアニメのキャラクター商品の好調が続いており、前年を大きく上回った。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
菓子　TOTAL	99.4	-0.9
チョコレート	101.7	-0.2
キャラメル		
キャンディ		
チューインガム		
ビスケット＆クラッカー	105.2	0.4
スナック	104.3	3.0
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子	**180.7**	-46.7
栄養バランス食品	104.9	2.2

嗜好品

前月よりも伸長し、前年比105.4%と前年を上回った。
「アイスクリーム」:前月よりも大きく伸長。平年よりも気温が高かったことに加えて、各社の新商品が好調だったことも寄与。
「ホイップクリーム」:手作り菓子需要により、引き続き堅調。
「麦茶」:前月より大きく伸長。平年よりも気温が高かった影響もあり、巣ごもり需要で伸長したと考えられる。
「中国茶」:ダイエット効果が注目された"杜仲茶"が好調を維持。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
嗜好品　TOTAL	105.4	3.3
アイスクリーム	109.0	11.1
デザート類		
ベビーフード	105.7	5.4
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	115.2	-0.0
インスタントコーヒー	103.4	-5.8
レギュラーコーヒー	109.0	-5.5
紅茶	107.6	-4.6
ココア	101.1	-18.9
日本茶	103.4	-9.9
麦茶	109.1	11.5
中国茶	120.3	3.2

飲料

前月よりは伸長したものの、外出自粛の影響か、前年比98.5%と前年を下回った。
「サイダー」:レモンフレーバーの商品のほか、人気アイドルグループの歌詞をパッケージに用いた商品が好調。
「炭酸飲料」:果汁炭酸の新フレーバーの商品のほか、人気TVアニメのキャラクター商品のシャンメリーが好調。
「ミネラルウォーター類」:巣ごもり需要により、1Lの大型ペットタイプの炭酸水が好調。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
飲料　TOTAL	98.5	2.6
牛乳	101.7	3.8
ヨーグルト		
乳酸菌飲料		
豆乳		
１００％ジュース		
果汁飲料		
トマトジュース		
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー	114.3	13.8
炭酸飲料	107.3	6.0
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク		
液体茶		
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク		
栄養ドリンク		
ミネラルウォーター類	105.7	16.9
乳酸飲料		

アルコール

前年に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込みが継続していた影響もあり、前月ほどの勢いはないものの、前年比104.0%と前年を上回った。
「ビール」:ビール類のうち、ビールが好調。20年10月の酒税法改正による減税のほか、糖質ゼロを訴求する新商品の寄与もあるようだ。
「ウイスキー」:巣ごもり需要の影響もあり、前年より伸長。とりわけスコッチタイプが好調。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
アルコール　TOTAL	104.0	-2.1
ビール	102.6	2.3
ウイスキー	110.7	-7.7
ワイン	104.0	-4.3
日本酒		
焼酎	102.5	-10.4

日用雑貨

前年に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込みが継続した影響もあり、前月ほどの勢いはないものの、前年比111.3%と前年を上回った。
とりわけ、ぬれティッシュや使い捨て紙クリーナーなど、新型コロナウイルスの感染予防対策として、身の回りを清潔に保つための商品の需要が堅調。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
日用雑貨　TOTAL	111.3	-8.4
歯ブラシ	105.9	-8.6
歯磨き	110.1	-11.8
マウスウォッシュ	111.4	-7.3
義歯用剤	103.7	-8.1
洗濯用洗剤	115.7	-13.2
中性洗剤	105.4	-16.4
漂白剤	110.2	-10.3
柔軟剤	114.8	-17.1
台所用洗剤	122.1	-9.0
住居用クリーナー	128.5	5.7
トイレ用クリーナー	110.3	-6.5
バスクリーナー	116.5	-10.5
パイプクリーナー	111.9	-0.6
家庭用手袋	121.7	1.3
化学雑巾	109.8	-5.5
たわし・スポンジ	109.7	-3.7
水切り袋	115.3	-1.9
殺虫剤	102.8	4.6
防虫剤		
カビ防止剤	111.6	-1.3
芳香・消臭剤	116.2	-1.4
トイレタンク用洗浄芳香剤	107.7	-2.2
除湿剤		
ラッピングフィルム	111.3	-0.8
アルミホイル	108.5	-3.0
食品包装用品	124.2	6.0
アルミガスマット	113.8	-3.8
ティッシュペーパー	101.1	-12.4
トイレットペーパー	111.3	-9.7
ペーパータオル	119.6	-2.3
ぬれティッシュ	**154.2**	9.1
使い捨て紙クリーナー	145.8	12.2
紙おむつ		
大人紙おむつ	107.1	-14.6
生理用品	101.2	-5.4
絆創膏	111.2	1.9
使い捨てカイロ		
綿棒	101.9	-1.0

ペット

ペットカテゴリーでも、前年に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込みが継続していた影響もあり、前月ほどの勢いはないもの、前年比107.6%と前年を上回った。
「ペット用品」:犬猫用だけではなく、魚類や昆虫用の商品も好調。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
ペット　TOTAL	107.6	-9.5
ドッグフード	103.6	-12.0
キャットフード	109.4	-8.4
ペット用品	110.4	-9.0

石鹸・ヘアケア

前年に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込みが継続していた影響もあり、前月ほどの勢いはないものの、前年比109.8%と前年を上回った。
「石鹸」:とりわけ、ハンドジェルやハンドソープが大きく伸長しており、新型コロナウイルス予防対策の需要が堅調と見て取れる。
「ヘアートリートメント」:ボリュームダウンを訴求する商品が好調で、外出自粛により、美容院の利用を控える人も少なく、自身で手入れをする需要が高まっているためと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
石鹸・ヘアケア　TOTAL	109.8	-6.9
石鹸	126.5	-4.8
入浴剤	112.6	-26.6
シャンプー	107.9	-5.7
ヘアーリンス	107.5	-9.8
ヘアートリートメント	124.5	-6.9
アウトバスヘアケア		
ヘアーカラー	101.8	-9.2
育毛トニック	110.6	-6.1
制汗剤		

化粧品

外出自粛やマスク着用の影響により、口紅やファンデーションなどのメイクアップ化粧品の不調が続いており、化粧品計では前年比91.2%と前年を下回った。
洗顔クリームや栄養クリームなどの基礎化粧品は、前年を上回り堅調に推移している。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
化粧品　TOTAL	91.2	-15.5
クレンジング	102.8	-14.1
洗顔クリーム	107.6	-9.1
化粧水	104.0	-20.1
乳液	104.7	-25.2
栄養クリーム	108.4	-23.3
パック		
美容液		
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア		

医薬品

前年に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込みが継続していた影響もあり、前月ほどの勢いはないものの、前年比109.7%と前年を上回った。
「マスク」:例年でも冬場の風邪の流行とともに需要が伸長することもあり、前月よりも伸び幅が大きく減少したものの、新型コロナウイルスの感染予防対策の需要が底堅く、依然として前年比288.4%と好調を維持。
「皮膚用薬」:新型コロナウイルス感染予防対策の需要が堅調で、手指消毒剤が引き続き大きく伸びている。
「健康食品」:ダイエット効果を訴求するソイプロテイン粉末の健康食品が好調。外出自粛に伴う運動不足・体重増への対策として、需要が高まっていると見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2020年11月	前月差 2020年11月
医薬品　TOTAL	109.7	-10.9
コンタクト用剤		
マスク	**288.4**	-212.0
ミニドリンク剤		
漢方薬		
総合感冒薬		
鼻炎治療剤		
解熱鎮痛剤	102.0	-0.2
鎮咳去痰剤		
口腔用薬		
胃腸薬	100.9	-4.5
整腸薬	100.4	-2.7
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬	**150.3**	-0.4
目薬		
健康食品	108.5	-1.6

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。
利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。
また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。

（株）インテージ
DataSource：SRI 2020年11月データ